

4 各部の名称と機能

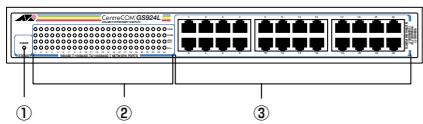


図1 外観図 (正面)

- ① **POWER LED (緑)**
本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。
- ② **PORT LED**
○ 100M、1000M (緑)
100Mは、ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。1000Mは、1000Mbpsで動作しているときに点灯します。100Mと1000Mが消灯しているときには、10Mbpsで動作していることを示します。

○ LINK/ACT LED (緑)
ポートと接続先機器がリンクしたときに点灯します。また、パケットを受受信しているときに点灯します。

○ FULL LED (緑)
ポートが Full Duplex で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half Duplex で動作していることを示します。
- ③ **10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート**
10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクタです。接続先の種類 (MDI/MDI-X) にかかわらず、ストレート / クロスどちらのケーブルでも使用できます。また、これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度と通信モードを自動設定します。

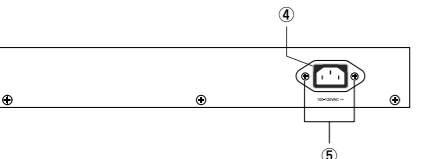


図2 外観図 (背面)

- ④ **電源コネクタ**
電源ケーブルを接続するためのコネクタです。
- ⑤ **電源ケーブル抜け防止金具取り付けネジ**
オプション (別売) 電源ケーブル抜け防止金具 (AT-RTNR-01) の取り付けに使用します。
- ⑥ **壁面設置穴 (2箇所)**
本製品を壁面に設置するための穴です。
- ⑦ **ゴム足 (4箇所)**
- ⑧ **マグネット Kit 取り付けネジ穴 (4箇所)**
オプション (別売) のマグネット Kit を取り付けするネジ穴です。

図3 外観図 (底面、ポート下向き)

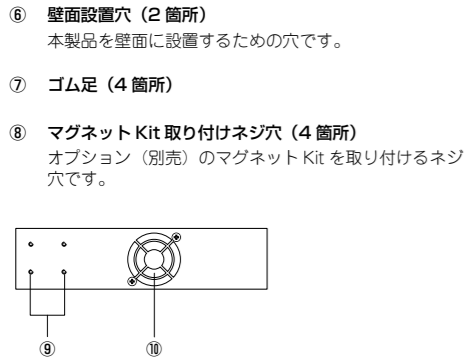


図4 外観図 (側面)

- ⑨ **19 インチラックマウントブラケット取り付け穴 (4箇所)**
同梱の 19 インチラックマウントブラケットを取り付けるためのネジ穴です。
- ⑩ **ファン**
本体内部の熱を逃がすためのファンです。

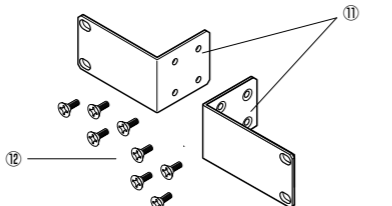


図5 19 インチラックマウントキット

- ⑪ **19 インチラックマウントブラケット取り付け穴**
EIA 規格の 19 インチラックに取り付けるときに使用します。
- ⑫ **ブラケット取り付けネジ**
ブラケットを本体に固定するネジです。

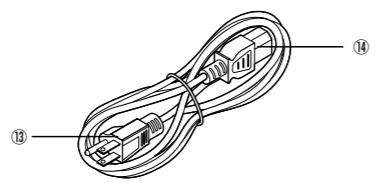


図6 電源ケーブル

- ⑬ **電源プラグ**
電源ケーブルを電源コンセントに接続するためのプラグです。
- ⑭ **電源コネクタ**
電源ケーブルを本製品に接続するためのプラグです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- ゴム足による水平方向の設置
- 同梱のラックマウントキットによる 19 インチラックの水平方向の設置
- タッピングスクリーによる壁面への設置
- オプション (別売) を利用することにより、次の方法による設置ができます。
 - 壁設置ブラケット (AT-BRKT-J22) による壁面への設置
 - マグネット Kit XS によるスチール製壁面への設置

警告 弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。

設置準備

● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線線などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。

○ 底部を上にして設置しないでください。

○ 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。

○ 本体の上にものを置かないでください。

○ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

○ 本製品は屋外ではご使用になれません。

○ コネクタの端子にはさわらないでください (静電気を帯びた手 (体) でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります)。

設置

● 平らなところに設置する

本製品をデスクの上などに設置して使用する場合は、必ずゴム足がついていることを確認してください。衝撃を吸収するクッションの役目をします。

ヒント マグネットキットとゴム足は同時に使用することはできません。

● 19 インチラックに取り付ける

本製品は、同梱の専用 19 インチラックマウントキットを使用して、EIA 規格の 19 インチラックに取り付けることができます。

1. 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずす
2. ブラケットを取り付ける

同梱の 19 インチラックマウント用ブラケットを付属のネジを用いて、本体の両側面にしっかりと固定してください。

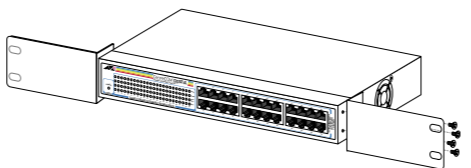


図7 ブラケットの取り付け

3. 19 インチラックに取り付ける

19 インチラックの任意の位置に本体を合わせ、適切なネジ (別途ご用意ください) でしっかりと固定してください。

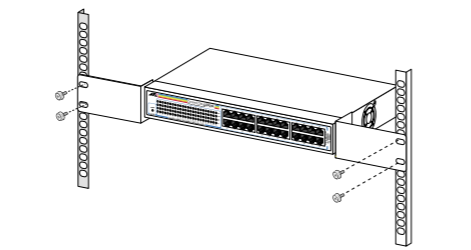


図8 19 インチラックへの取り付け

警告 ブラケットおよびブラケット用ネジは必ず同梱のものを使用し、19 インチラックに適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

オプションを利用した設置

● 壁面への取り付け

本製品の壁面への設置は、別売の壁設置ブラケット AT-BRKT-J22 を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・ 壁設置ブラケットの使用方法は、AT-BRKT-J22 の取扱説明書をご参照ください。
- ・ 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

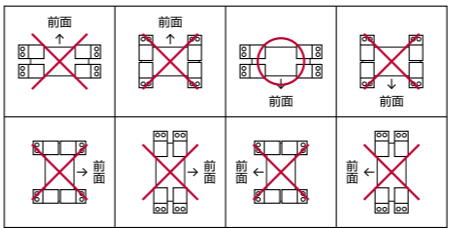


図9 取り付け可能な方向

注意 ・ 壁設置ブラケットに取り付け用ネジは同梱されていません。別途ご用意ください。
・ 壁設置ブラケットを使用する際は、本製品からゴム足を外してください。

警告 ・ 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因になります。
・ 壁設置ブラケットを使用して壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

● スチール製壁面への設置

本製品のスチール製壁面への設置は、別売のマグネット Kit XS を使用し、以下の点に注意して行ってください。

- ・ マグネットキットの使用方法は、マグネット Kit XS の取扱説明書をご参照ください。
- ・ 本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

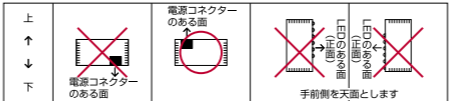


図10 マグネットキットを使用する場合の設置方向

注意 設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度を得られない場合があります。

警告 ・ 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因になります。
・ マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器破損の原因となるおそれがあります。

タッピングスクリーによる壁面への設置

本製品は、壁面設置用タッピングスクリーを使用することにより壁面に取り付けることができます。

本製品は必ず下図の○の方向に設置してください。

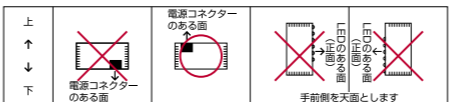


図11 タッピングスクリーを使用する場合の設置方向

警告 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因になります。

注意 取り付けはしっかりした壁に行ってください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けられません。

ヒント ・ 石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁に取り付ける場合は、プラスチックアンカーを併用してください。
・ タッピングスクリーは M3 を使用してください。なお、本製品には、壁面設置用タッピングスクリーおよびプラスチックアンカーは同梱されていません。使用の際は、お客様にてご用意ください。

1. 設置場所と設置方向を決める

電源ケーブルおよび UTP ケーブルの接続が可能であること、また、LED の表示が監視可能であることを確認してください。

2. タッピングスクリーをねじ込む

タッピングスクリーの間隔が本体底面にある 2 箇所

の壁面設置穴の間隔と同じになるようにタッピングスクリーをねじ込みます。このとき、ネジと壁の間を 1mm ほど残してください。

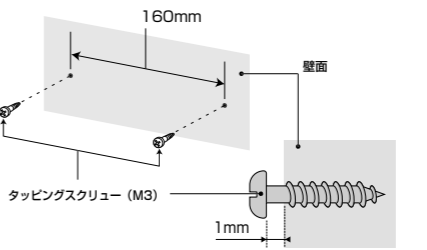


図12 タッピングスクリーの間隔

プラスチックアンカーの使用について

プラスチックアンカーを使用する場合は、きりやドリルなどで開けた穴に押し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込んでください。

注意 穴はプラスチックアンカーが入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると落下の原因となります。

3. 本体を壁に取り付ける

壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴にさし込むようにして取り付けます。このとき、ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

注意 ネジ頭を壁から出し過ぎた状態にてご使用になりますと、GS924L を壁に取り付けた際に製品内部に干渉し、故障の原因となります。

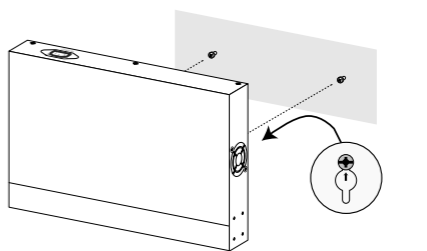


図13 本体の取り付け

6 接続

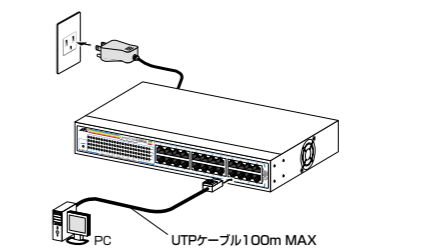


図14 接続図

ネットワーク機器の接続

● UTP ケーブルの接続

UTP ケーブルを使用して本製品と PC などの端末を接続します。本体の LAN ポート (RJ-45) に UTP ケーブルの一端を接続し、もう一端をネットワークポートに接続します。

ヒント UTP ケーブルのコネクタ部を持ち、カチッと音がするまで差し込んでください。

● UTP ケーブルのカテゴリ

10BASE-T 接続の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX カテゴリ 5 以上、1000BASE-T 接続の場合はエンハンスド・カテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

● UTP ケーブルのタイプ

本製品は MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしているので、接続先の種類 (MDI/MDI-X) を意識することなく、どちらのケーブルタイプ (ストレート / クロス) でも使用できます。

● UTP ケーブルの長さ

本製品とネットワーク機器を接続する長さは 100m 以内にしてください。

電源ケーブルの接続 (本製品の起動)

本製品は、電源ケーブルを電源コンセントに接続することで電源が入ります。

警告 本製品を使用する場合には、必ず製品に同梱されている電源ケーブルをご使用ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

注意 本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

ヒント 本製品は、オプション (別売) の電源ケーブル抜け防止金具 (AT-RTNR-01) に対応しています。

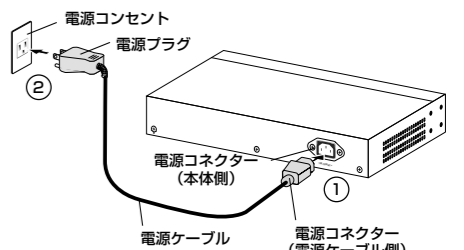


図15 電源ケーブルの接続

1. 本体側の電源コネクタを接続する。
図 15 の①をご覧ください。
2. 電源プラグを電源コンセントに接続する

図 15 の②をご覧ください。このとき、本体前面の POWER LED (緑) が点灯することを確認してください。UTP ケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートの LINK/ACT LED (緑) が点灯します。

本製品の停止

本製品を停止するには、電源コンセント側の電源プラグを抜いてください。

警告 電源コンセント側に差し込んだまま、本体背面に接続した電源コネクタを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

ヒント 電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

7 カスケード接続

本製品は、全てのポートで MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしていますので、ケーブルの種類 (ストレート / クロス) および接続先のポートの種類 (MDI/MDI-X) を意識することなく、簡単にカスケード接続ができます。

ヒント ・ スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

・ カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。